「笑顔と健康」で暮らせるまちづくり

鏡石町長　遠藤　栄作

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年発生した、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、皆様には、「新しい生活様式」の実践など、これまで感染拡大防止に向けた取組にご協力頂き心から感謝申し上げます。併せて、早期のワクチン開発と全国民に対する接種を望むものであります。今後、これまで以上に感染症予防と地域経済への支援を図るための予算を計上し、対策に取り組んで参ります。

また、令和元年東日本台風では、本町の成田地区においても、阿武隈川と鈴ノ川の堤防が決壊し、これまでの浸水被害を超える大水害となりましたが、被災された皆様に寄り添いながら、国が進める遊水地事業や高台移転等の事業化に向けての要望活動にしっかりと取り組んで参ります。

さて、今年は、本町の５つの行政分野別目標を掲げた「第５次総合計画」の目標年次の最終年度で総仕上げの年となることから、まちづくりの目標でもある「新たな飛躍」に向けて、来年度の予算編成と次期第６次総合計画策定にしっかりと取り組んで参りたいと思います。

具体的には、「健康福祉センター」の建設事業、第二小学校校舎部分改修事業、不妊治療・出産支援事業、令和４年度完成予定の新浄水場建設事業、さらに、「駅東第１土地区画整理事業」第３工区の推進を着実に進めて参ります。

今後も、地方創生と人口減少対策としての「子育て支援対策」、安心・安全の中で子どもから高齢者までが「笑顔で健康」で暮らせるまちづくりに取り組んで参りますので、町民各位並びに関係機関の皆様には、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「リブランディング」～再構築に向けて

鏡石町議会議長　古川　文雄

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと心より、お慶び申し上げます。

また、常日頃から議会活動には、多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、東日本大震災から10回目のお正月を迎え、本来であれば震災前の生活を取り戻しているはずですが、一昨年10月の令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症は、私たちに「新たな生活様式」を求めることとなっております。

刻一刻と変化し続ける環境の中で、私たちはともすれば目先のことにとらわれがちですが、新年を迎えるこの区切りの時に、じっくりと自分を振り返ったり、周囲の状況にも目を配りながら、将来の計画を立ててみることも大切なことではないでしょうか。

コロナ渦の中にあっても、進化を続ける鏡石町でなければなりません。国道４号拡幅工事も、久来石方面の工事が進んでおります。また、新浄水場建設事業も順調に進捗し、駅東土地区画整理事業においても、第１工区では、新築住宅の建築が進み、新しい町並みとなっております。第３工区の工事も順調に進み、健康福祉センター建設の計画が進んでおります。町民の健康づくりと福祉の拠点として、赤ちゃんから高齢者まですべての町民が利用する施設として、親しまれる場所になるよう取り組んで参ります。

これまで以上に新型コロナウイルス感染症対策・地域経済対策に取り組み、議会の活性化に努めるとともに、皆様方の生の声を町執行へ届けることができるよう、議会一丸となりまして取り組む所存であります。

年頭に当たり、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今年もより一層のご支援を、お願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。